

都市再生整備計画 事後評価シート
三好ヶ丘地区

令和6年3月

愛知県みよし市

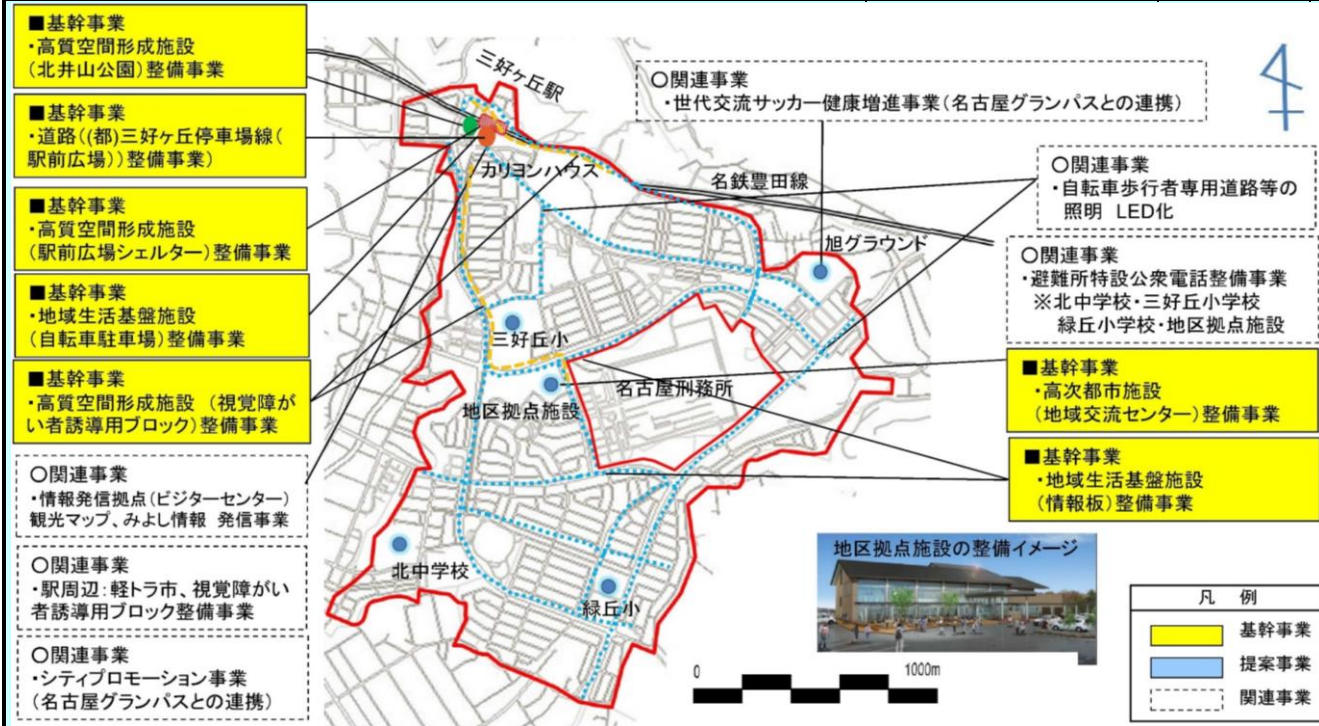
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	みよし市	地区名	三好ヶ丘地区			面積	227ha					
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	953.0	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 提案事業	事業名 道路(都)三好ヶ丘停車場線)、地域生活基盤施設 自転車駐車場(三好ヶ丘駅周辺)、高質空間形成施設(北井山公園)、高次都市施設 地域交流センター(地区拠点施設)											
	当初計画から削除した事	基幹事業 提案事業	事業名 - 削除/追加の理由 - 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 -											
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設 情報板(地区拠点施設周辺案内サイン)	本事業で整備する地区拠点施設へ案内誘導するための情報板(サイン看板)を2か所設置し、さらなる利用を目指すとともに、本区域外の人々との交流を図ることで、人の交流や地域の活性化を促進するため。										
			高質空間形成施設((都)三好ヶ丘停車場線)	三好ヶ丘停車場線(駅前広場)の整備について、広場の整備と歩行者の移動環境改善に向けたシェルターを一緒に道路の基幹事業にあげていたため、これを分割したことによるため。										
			高質空間形成施設(市道三好ヶ丘線4路線)	整備する駅前広場から、本事業で整備した地区拠点施設、商業施設へ接続する市道に視覚障がい者用誘導ブロックを備え、障がい者に配慮した歩行空間を整備するため。										
	提案事業	-												
	交付期間の変更	当初 変更	H30～H34 H30～R4	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		年号の記載が変更されたのみで、期間には変更がないため影響なし								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	指標1	カリヨンハウスにぎわいプラザを含めた駅前広場の利用者数	千人/年	20	H28	23	R4	-	22	△	あり なし	○	駅前広場を中心とした空間整備により駅前広場とカリヨンハウスにぎわいプラザが一体的な駅前空間となり、さらに自転車駐輪場などの施設が整備されたことで、利用者数の増加に寄与した。	-
	指標2	駅ロータリー内の正しい利用車両の割合	%	14.5	H29	85	R4	-	79	△	あり なし	○	駅前広場整備事業により駅ロータリーが整備され、一般車道と公共交通が混在しない安全な交通結節点となり、正しい利用車両の割合の向上に寄与した。	-
	指標3	地区拠点施設の利用者	千人/年	31	H28	50	R4	-	33	△	あり なし	○	新しい地区拠点施設の整備により、利用者数は増加したが、まだ十分に伸びておらず、目標達成には至らなかった。コロナ禍の影響が大きいと予想されるが、選挙の期日前投票場、広域避難施設の指定などによる施設活用により、利用者の増加は確実に発現している。	-
	指標4	交通安全・防犯の充実	%	24.3	H28	27	R4	-	35	○	あり なし	-	地区内の道路照明LED化事業によって、夜間の歩行者・自転車利用者の安全性を向上させ、交通安全・防犯性の向上に寄与した。さらに、地区拠点施設の整備や避難所特設公衆電話整備事業により災害発生時の住民の通信手段を確保することで、地域の安全・安心に対する満足度向上に寄与した。	-
指標5	まちの顔づくりの満足度	%	10.7	H28	12	R4	-	19	○	あり なし	-	駅前広場整備事業や駅前広場シェルターなどの整備による駅前の空間形成により、地区の玄関口としてのまちの顔づくりの満足度の向上に寄与した。さらに、北井山公園のトイレ整備やシティープロモーション事業による駅前の賑わい形成により、満足度向上に寄与した。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	その他の数値指標1	カリヨンハウスイベント広場の利用件数	件/年	72	H28	-	-	-	144	/	/	/	駅前広場整備事業や駅前広場シェルター整備事業、北井山公園整備事業により、駅前広場周辺の一体的な賑わい空間が形成され、隣接するカリヨンハウスイベント広場の利用件数が向上した。	-
その他の数値指標2	道路の満足度	%	22	H28	-	-	-	33	/	/	/	駅前広場整備事業による駅前における安全性が向上し、さらに駅前広場シェルター整備事業や道路照明LED化事業による歩行者快適性や利便性が高まり、道路の満足度が向上した。	-	
その他の数値指標3	市民の参画と協働によるまちづくりの満足度	%	13	H28	-	-	-	18	/	/	/	地区拠点施設である、おかし地区交流センター等の施設整備により、住民が地域の活動に参加しやすい場づくりが創出され、さらに軽トラ市・マルシェなどの開催場所として公共空間を貸し出し、市民主体のイベント開催を市がサポートしたことにより、市民の参画と協働によるまちづくりの満足度が向上した。	-	
4)定性的な効果発現状況	特になし													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対策方針等						
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
	官民連携による取組	【軽トラ市・マルシェ】駅前での賑わいや交流のひとつである軽トラ市やマルシェの開催について、主体である市民の開催に対し、行政側も支援し協働して市民活動を推し進めていく。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●						
	持続的なまちづくり体制の構築	【森守り隊】地区内の公園や緑地の管理や市民主体のまちづくりに対し、持続的な交流のための支援を実施していく。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ●						
補助金交付が終了する令和6年度以降も活動を継続できるように、活動支援をしていく。														

様式2-2 地区の概要

みよし市三好ヶ丘地区(愛知県みよし市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:『人の賑わい・交流と安全・安心な地域づくり』 目標1:地区の交流の核となる施設(三好ヶ丘駅前、拠点施設)における人々の活性化 目標2:公共交通の利用促進と自転車の利用や歩いて暮らせる地域づくり 目標3:安全・安心な都市環境の整備	カリヨンハウスにぎわいプラザを含めた駅前広場の利用者数	千人/年	20 H28	23 R4
	駅前ロータリー内の正しい利用車両の割合	%	14.5 H29	85 R4
	地区拠点施設の利用者	千人/年	31 H28	50 R4
	交通安全・防犯の充実	%	24.3 H28	27 R4
	まちの顔づくりの満足度	%	10.7 H28	12 R4



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場とその周辺及び地区拠点施設の整備により、交流人口が増加し、賑わい空間が形成された。 駅前公共施設の再整備により、駅前広場とカリヨンハウス前の空間を一体的に利用できるようになり、駅前の魅力の向上につながった。(駅前広場空間を用いたイベント開催を促進する必要がある。) 駅前ロータリーにおいて混在していた一般交通と公共交通の動線が区別され、利用促進につながった。(駅前ロータリー利用者に対して正しい利用方法の周知を実施する必要がある。) 地区拠点施設の整備により、本地区の市民が多世代にわたり交流できる施設の利用促進につながった。(地区拠点施設の利用者数の増加を促進する必要がある。) 地区内の道路照明LED化事業によって、夜間の歩行者・自転車利用者の安全性の向上が実現した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場とその周辺及び地区拠点施設における賑わい空間としての維持・向上(整備済み施設の適切な維持管理による利便性の維持・向上)【駅前広場、カリヨンハウス、地区拠点施設等の維持管理】 駅前ロータリーにおける一般交通と公共交通の動線の区別の促進(駅前ロータリーの適切な維持管理による交通結節点としての利便性・安全性の維持・向上)【駅前ロータリーの維持管理】 歩行者・自転車利用者の安全性の維持・充実(安全・安心な歩行・自転車利用環境の維持・向上)【道路照明LED化事業】 駅前広場等を用いたイベントの開催促進(駅前空間における、まちの顔としての賑わいの創出)【地域住民主体の取組・イベント開催支援】 駅前ロータリーの正しい利用方法の周知(駅前ロータリーにおける利用についてのPR方法の検討)【ポスター、チラシなどを用いた広報・啓発活動】 地区拠点施設の利用促進(イベントの会場としての利用回数の向上や、日常的な利用者獲得の両面からの利用促進)【拠点施設における講座等の充実・支援/拠点施設の利用を促進する情報発信/地域住民の自主的な活動の活性化支援】